

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2001-200870 (P2001-200870A)
 【公開日】平成 13 年 7 月 27 日 (2001.7.27)
 【出願番号】特願 2000-10389 (P2000-10389)
 【国際特許分類】

F 1 6 D 55/228 (2006.01)

F 1 6 D 65/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 55/228

F 1 6 D 65/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 14 日 (2006.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

上述の様にし行なう本発明の対向ピストン型ディスクブレーキ 1 a の制動時に、上記アウター側ボディ 3 及びインナー側ボディ 4 には、上記各パッドのライニングとロータ 2 の両側面との摩擦やこのロータ 2 の両側面のうねり等に基づく振動が加わる。従来構造の場合には、この振動に基づいて、上記両ボディ 3、4 が低周波振動したが、本発明の対向ピストン型ディスクブレーキ 1 a の場合には、前記連結材 1 1 が、この様な低周波振動の発生を抑える。即ち、この連結材 1 1 が前述の様に、上記アウター側ボディ 3 の一端寄り部分と上記インナー側ボディ 4 の他端寄り部分とを、上記アウター側ボディ 3 の他端寄り部分と上記インナー側ボディ 4 の一端寄り部分とを、互いに連結して、互いに連結した部分同士が互いに遠近動する事を阻止する。この為、上記連結材 1 1 が上記両ボディ 3、4 の剛体モードの捩り振動を抑制して、上述した様な制動時に、上記各パッドのライニングとロータ 2 の両側面との摩擦やこのロータ 2 の両側面のうねり等に基づく振動に拘らず、上記両ボディ 3、4 が低周波振動するのを防止して、運転者等の乗員に不快な振動や騒音が発生するのを防止できる。又、図面に示す様に、上記連結材 1 1 によりパッドスプリング 1 5 を押圧する事も可能である。そして、この場合には、従来構造の場合に必要とされたパッドスプリング支持用のピンは不要になり、コスト低減を図れる。

【手続補正 2】

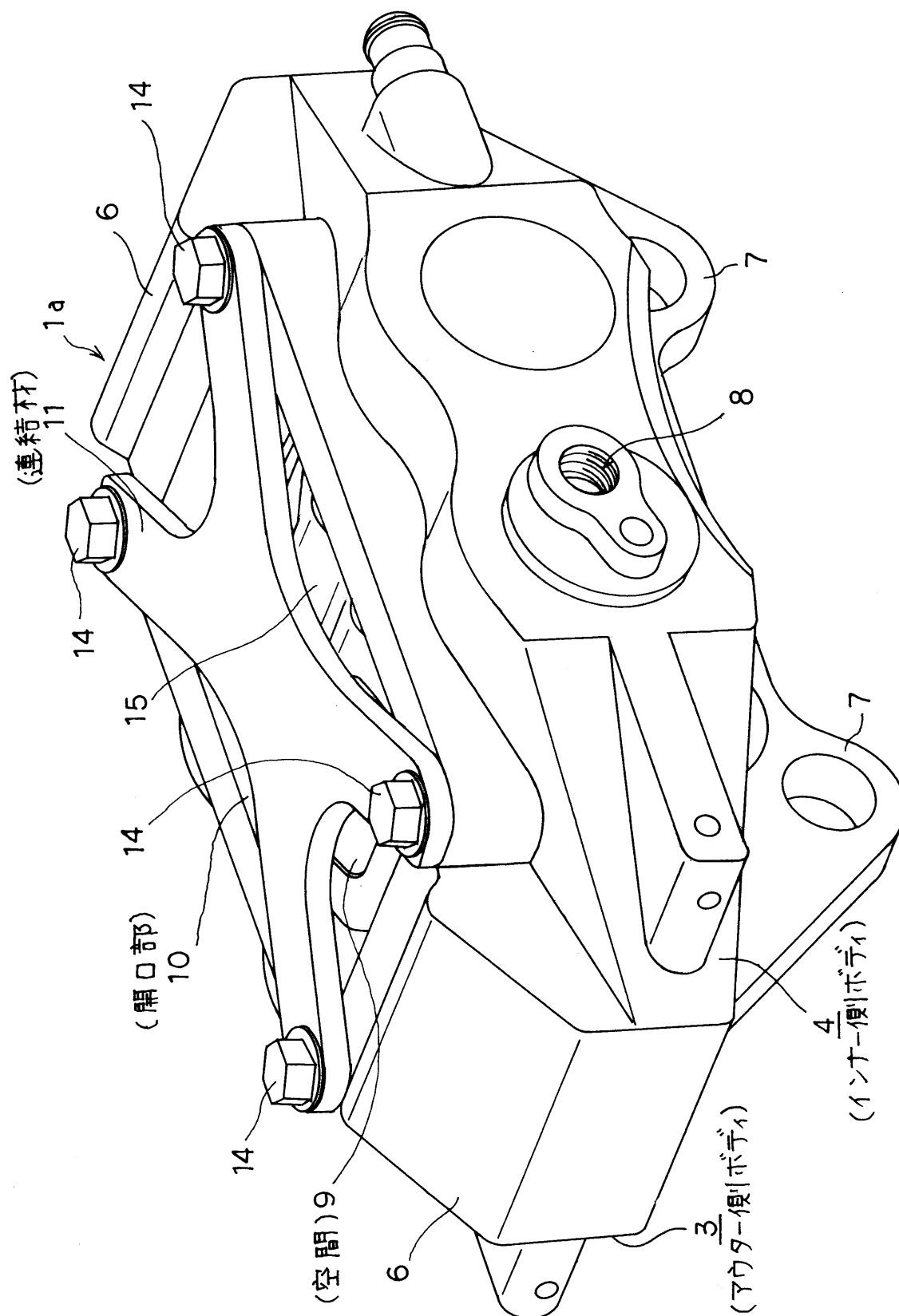
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

